

## JQ1SYQ／西野OM のこと

J A I R I Z

突然の報に接し言葉もなく、啞然とするばかりでした。

8月13日から行方不明になったということでしたが、私が知ったのはやっと17日になってからでした。修羅場をくぐってきた彼のことなので、ひょっこり無事の知らせであるのではないかと祈念致していましたが、翌18日にはサイレントキーが確認されたとの報。今だに信じられません。

最近までかなりアクティブにオンエアされていたとのこと。2月のバイク購入以来移動運用が加速されていたのでしょうか。私は、今年4月のALL-JAで50MHz/CWのQSOがラストになってしまいました。

彼とは会社も同じ、所属部門も同じでした。社のクラブ局の最初からのメンバーでもあり、コンテスト参加にはもちろん、平常の運用でも部室に居ない日は無いくらいアクティブでした。普段はほとんどCWマンだったと思いますが、クラブ局のビッグなシャックからは、英語のほか、スペイン語、ロシア語、中国語などを駆使してオーバーシともSSBでもよく交信していました。何か国語を喋るのだろうかと思いがっただけです。

彼は3年位沖縄駐在の時期がありましたが、その間、沖縄本島のJCC・JCGを精力的に回り、それまでWANTEDが高かったところをザコにしてしまう勢い。CWでアワードを追いかけている人たちの要望に大貢献したのではないのでしょうか。当時は年間3万とか4万QSOしたと豪語していました。その頃、JA1TCF／朝香OMと彼と自分の3局で宮古・石垣・西表の各島サービスに行ったことがありましたが、朝から晩まで部屋に閉じこもり、ここぞとばかりにQSOに打ち込む状況には民宿の方もあきれ果てていました。それもそのはず、マルキ印のお二人がいたのですから。お二人とも遠い国へ旅立ってしまいました。

彼は沖の鳥島へ出張の時も、FT-817+ワイヤーANTでDXサービスされたとか。ローパワーでのサービスでDX界にもちょっと話題を振りまいた様です。可能性があればチャレンジするというアマチュアスピリットには頭が下がります。彼も一時は集合住宅の1階からDXにチャレンジしていて、100何十カントリー等と云っていた時期がありました。その時のリグといえ、1階から張り出した釣り竿ワイヤーANTに50Wだったと思います。それでDXですから、どれだけ熱を入れたか想像を超えるものがあります。ついにはXYL様の逆鱗に触れて=同軸ケーブルをハサミで切断されるという事態になった、ことを後から聞きました。いかに熱心だったか笑うに笑えないエピソードでした。

仕事の方も凄かったという印象です。会社では「ブルトラー組」と言われるグループの人たちがいましたが、彼は間違いなくその組でした。要職に就くほか、無線設備の現地工事の現場代理人・主任技術者、コンサルタント、更には回線設計ソフトの考案など、ブルトラーの如くどんどんと仕事をこなしていました。アナログばかりでなくデジタル技術も良く勉強されていたと思います。彼に、手の平サイズのエレキーを作ってもらいましたが、パドル部分もプラ板を器用に切り出して造るなど手が混んでいました。20年近くも前のものですが、今も実用になります。その他、CQ誌にもHFギボシ端子ANTをはじめ3EL八木ANT等々いくつかの寄稿などもしています。

仕事にもハムにも全力で取り組んでいたのも、まだまだ頑張っていた人でした。

山岳移動運用の様子など色々なことを、もっともっと聞いてみたいと思っていましたが、今はそれもありません。

私は、耕運機組です。どれだけのことができるか分かりませんが、諸事只々、続けるのみです。

御冥福をお祈り申し上げます。 合掌

記事にある、OM 自作の手の平サイズのエレキキー  
故 JA1BSZ/小沢さんや JJ1SXA/池さん等数人に配布された

